

📱 社会安全学部 ホームページ

社会安全学部に関するさらに詳しい情報については、「社会安全学部ホームページ」をご覧ください。オープンキャンパスなどのイベント情報や最新のニュースなどが確認できます。「学生インタビュー」や「社安毎日」などのキャンパスライフ情報、「卒業生インタビュー」や「就職実績」といった進路情報など、社会安全学部での学びをイメージできる情報が満載です。



📱 関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

2023年4月
リニューアル

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載！社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。



関大 入試

検索

/ クリック! \



LINE 関西大学 入試センター ×
LINE公式アカウント



Instagram 関西大学 入試センター
公式Instagram



Twitter 関西大学 入試広報
公式Twitter



YouTube 関西大学 入試センター
公式YouTube



JRでのアクセス

JR京都線「高槻」駅(大阪・京都駅から共に約15分)下車、徒歩約7分。

阪急電鉄でのアクセス

阪急京都線「高槻市」駅(大阪梅田・京都河原町駅から共に約20分)下車、徒歩約10分。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からJR京都線で「高槻」駅下車。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「南茨木」駅下車、阪急京都線に乗り換え「高槻市」駅下車、徒歩約10分。



関西大学

社会安全学部

URL https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/ 〒569-1098 大阪府高槻市白梅町7番1号
Tel. (072) 684-4000 (大代表) e-mail safety_science@ml.kandai.jp

社会安全学部

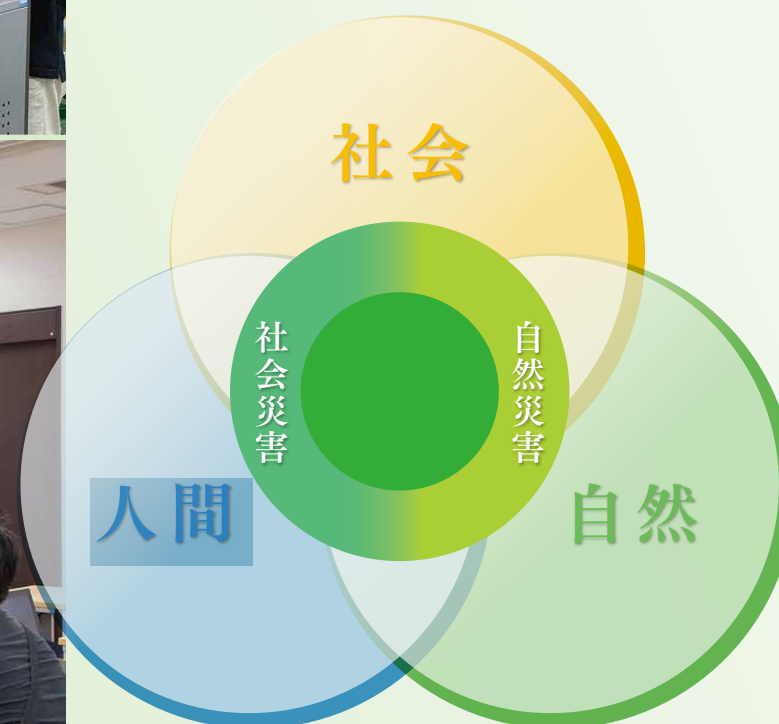
Faculty of Societal Safety Sciences

安全マネジメント学科



新しい学びのフロンティア

社会・人間・自然、そのすべての学問領域から最先端の知見を集めて「安全・安心」を探究します。問題を多角的に捉える総合力、実践的な解法を見出す即戦力を身に付けることができます。



- 社会** 自然災害・社会災害につよい社会システムの構築
関連する学問 ● 法学、経済学、社会学など
- 人間** 自然災害・社会災害と共生する人間の理解
関連する学問 ● 哲学、心理学、教育学、医学など
- 自然** 自然災害・社会災害の発生過程の解明
関連する学問 ● 工学、理学など

明るい社会と輝く未来へ向かって

～ 事故防止と安全、防災・減災、危機管理～

一人ひとりの得意分野は違っていても、人々が笑顔で暮らせる社会を創りたいという思いは同じです。社会・人間・自然という幅広い分野からの学びを通じて、安全・安心をデザインできる人材として活躍することをめざします。

Contents

「安全学」～社会へのアプローチ～	03-04
学びの流れ・カリキュラム	05-06
科目紹介	07-08
ゼミ活動紹介	09-10
就職・進路	11-12
キャンパス紹介	13
教員・研究紹介	14

「安全学」～社会へのアプローチ～

企業・自治体の現場では、お客さまが製品やサービスをいつでも安心して利用できるようにさまざまな活動が行われています。

ここでは、社会の第一線で活躍する3人の方々に、企業・自治体の活動のなかで「安全学」がどのように生かされているかを語っていただきます。

社会をささえる「安全学」



事故防止と安全

のプロフェッショナル



防災・減災

のプロフェッショナル



危機管理

のプロフェッショナル

安全を積み重ね、 安心と感じていただける鉄道をめざして。

鉄道は、車両、線路、信号などの「機械」と、それを取り扱うためのルールなども含めた「人」で構成されています。そして、人と機械の組み合わせによる複雑なシステム全体の調和に目を配り、課題を見つけ改善を重ねるために安全マネジメントの仕組みがあり、これら全てが有効に機能することにより鉄道の安全は確保されています。関係する学問としては、機械、電気、土木、材料の劣化管理などの機械工学全般、ヒューマンファクターなどの人間工学のほか、心理学や統計学、経営学などが挙げられます。福知山線列車事故のような事故を二度と繰り返さないため

には、鉄道のみならず異なる業種の事象から教訓を得ることも大切であり、学問はさまざまな出来事への理解をより深く導いてくれます。私たち事業者も学びながら一步一步進んでいこうとしています。

安全に対する社会的な要請は高まる一方であり、それにつれて安全学の重要性は高まっています。安全学は幅が広く奥も深いので、世の中を見る目が養われる面白さもあります。これから大学で学ぼうとされている皆さまが、安全学の知見を獲得され、さまざまな形で社会の安全の実現に貢献されることを願っております。



西日本旅客鉄道株式会社
鉄道本部 安全推進部 安全マネジメント室
高本 桂也さん

いかなる時もお客様に 安心していただける安定納入をめざして。

大規模地震や水害、火災など、企業に打撃を与える非常事態は一定の頻度で起きており、近年では2011年の東日本大震災や2019年の台風19号など、さまざまな自然災害が発生しました。

また、2020年には新型コロナウイルスによる感染症が拡大し、現在も流行が続いている状況です。当社では、このような事態に対応するため、製品・サービスの供給が中断した場合でも、速やかに復旧と操業再開をめざすことを方針に掲げ、BCP（事業継続計画）の取り組みを行っています。製造業は、原料・部材の調達から、最終消費者に製品が届くま

で、複数の企業・工場が連携し、サプライチェーンを形成しています。この一連のサプライチェーンの中で、わずか1企業でも操業が停止すると、市場が必要とする製品の供給が困難になる可能性もあります。緊急事態による損害は自社への影響のみならず、取引先や社会にまで影響が波及する可能性があることから、自社だけでなく社会を守るためにも、当社ではBCPに対する意識向上に取り組んでいます。私自身も営業として、いざという時にお客様に安心していただくために、当社のBCPを十分に理解し、即座に対応できるよう、日々心がけています。



京セラ株式会社
自動車部品事業本部
海外営業部 北米課
加藤 梨沙さん

大きく変革していく社会で、 防災・減災対策を担う人材としての活躍を期待。

災害等の危機から住民の生命、身体及び財産を守る責務を負う地方自治体を取り巻く状況は、少子高齢化に伴う社会保障費の増加等による財政の硬直化、市民ニーズの多様化、頻発する自然災害や突発的に発生する感染症などの危機事象への対応など、より一層厳しさを増しております。

このような状況下において、平成30年の大阪府北部地震や台風21号により甚大な被害を受けた本市では、これらの災害対応から得た教訓や課題等を踏まえ、頻発する自然災害への備えや迅速な復旧復興に資する「強靱なまちづくり」をめざし

た各種施策の推進に取り組んでいます。

特に防災分野においては、地方自治体が主体となる公助だけでは住民の命を守ることができないため、自助・共助のさらなる向上をめざしていますが、地域に目を向けますと、日常の近所付き合いが減少し、発災直後の救出・救護活動や地域が主体となった避難所運営の担い手不足が課題になっています。

皆さんは、これから安全学を中心に、さまざまな分野の知識を習得されます。これを基礎とし、既存概念にとらわれることなく、柔軟な発想をもち、自治体や企業、地域社会において、防災・減災対策を担う人材として活躍されることを期待します。

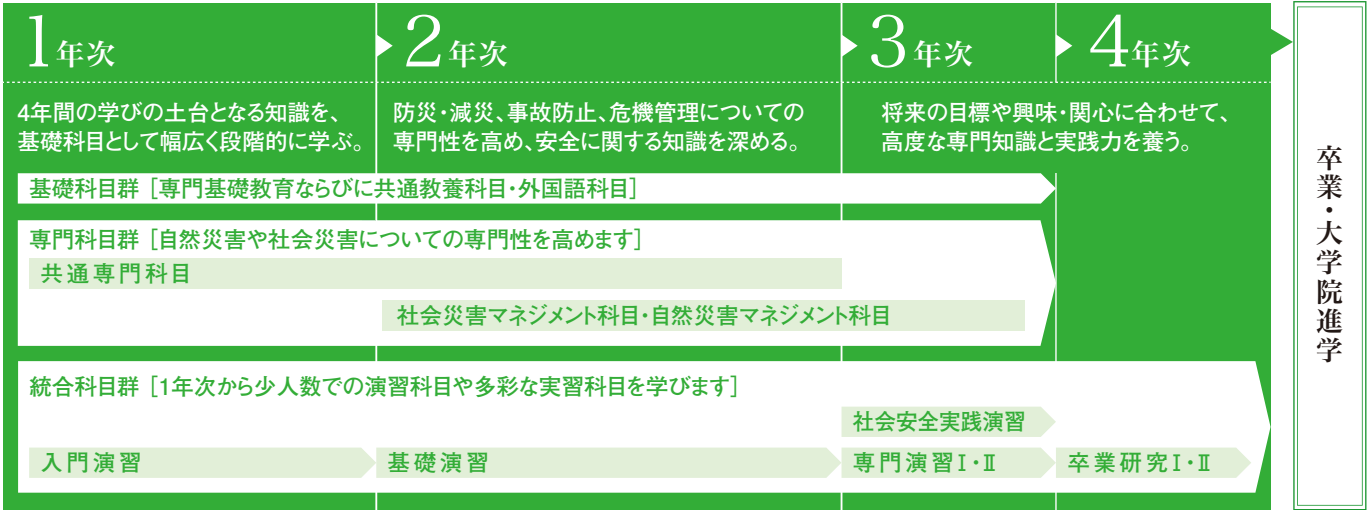


高槻市
危機管理監
松永 正明さん

学びの流れ・カリキュラム

安全・安心に関する最新の知識とスキルを段階的に学び、社会で実践できる力を養います。

4年間の学び



		1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目群	必修科目	社会安全学総論Ⅰ 社会安全学総論Ⅱ IT実習			
	選択必修科目	社会安全のための数学Ⅰ 社会安全のための数学Ⅱ 社会安全のための統計学			
	選択科目	安全と法制度 科学技術史と社会 現代の国際社会 法学概論 行政学 経済学概論 経営学概論 近代史 現代史 世界地理 哲学 論理学 倫理学 心理学 社会心理学 自然科学概論 地球科学概論			
	共通教養科目	健康・スポーツ科学実習a(各種目) 健康・スポーツ科学実習b(各種目) 健康・スポーツ科学実習c(各種目) 健康・スポーツ科学論 大学生から始めるキャリア形成 キャリア形成入門演習 SDGs入門 SDGsの実践 金融の実務から見るSDGs 環境問題と環境政策のルール 活用法を見聞するAI・データサイエンス 活用法を体験するAI・データサイエンス 起業に学ぶ「考動力」入門(関大出身起業家と考える未来の自分) 起業に学ぶ「考動力」実践(企業と考える未来のデザイン)		社会のためのデータサイエンス実践基礎 現代社会を生き抜くためのキャリア形成	AI・データエンジニアリング実践基礎
	外国語科目	英語Ⅰa/b 英語Ⅱa/b プラクティカル英語Ⅰa ドイツ語Ⅰa/b ドイツ語Ⅱa/b フランス語Ⅰa/b フランス語Ⅱa/b フランス語Ⅱa/b ロシア語Ⅰa/b ロシア語Ⅱa/b 中国語Ⅰa/b 中国語Ⅱa/b 中国語Ⅱa/b 朝鮮語Ⅰa/b 朝鮮語Ⅱa/b 中国語Ⅱa/b 朝鮮語Ⅱa/b		英語Ⅲa/b 英語Ⅳa/b プラクティカル英語Ⅰb	プラクティカル英語Ⅱa/b
外国人留学生科目		検定認定1(各検定試験) 検定認定2(各検定試験) 検定認定3(各検定試験)			
		日本語Ⅰa/b 日本語Ⅱa/b 日本語Ⅲa/b 日本事情Ⅰ/Ⅱ Contemporary Japan (Understanding Japan, Researching Japan, Japan in Mass Media 1/2) Communication in Japanese Society (Learning Kansai 1/2, Business Japanese, JPN Corporate Culture) Field-Based Learning (Society and Workplace Culture in Japan) Japanese (1-a/b~7-a/b)		キャリアデザインⅠ(日本の社会と企業) キャリアデザインⅡ(日本の就職と働き方)	日本語ⅤⅠa/b キャリアデザインⅢ(日本の社会で働く)
専門科目群	共通専門科目	災害事例分析 化学物質と環境リスク 製品安全論 安全システム論 都市構造物の歴史 防災教育 社会調査の基礎		安全の思想 安全・安心の行政法 地方自治法 社会技術論 治安政策論 コンプライアンス論 公共政策論 防災行政論 安全・安心の企業法 クライシスマネジメント論 地方財政論 リスクと災害の経済学 交通システム安全論 保険論 交通事故と損害保険 リスクマネジメント論 危機管理とリーダーシップ リスクと災害の社会学 リスク認知論 リスクコミュニケーション 人間行動実験法 リスク評価法 気候変動と地球温暖化リスク 応用データサイエンス 情報セキュリティ論 公衆衛生学 BCP 社会調査法 災害ジャーナリズム論	
	社会災害マネジメント科目			消費者安全関連法 犯罪論 災害心理学 ヒューマンエラー メンタルヘルス論 群集安全論	プラントの安全 労働安全衛生論 流行病の制御学
	自然災害マネジメント科目			防災まちづくり 地震災害論 環境問題事例研究 水災害論 地盤災害論 耐震工学 総合防災・減災論 災害復旧・復興論 火災論 環境政策論 災害情報論	
統合科目群	選択実習科目	数学実習 AI実習		災害調査実習 事故調査と事例分析実習	社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ ものづくり実習 人間行動実験実習
	必修演習科目	入門演習		基礎演習	専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ
	選択演習科目				社会安全実践演習(各テーマ)
	自由科目群	教職概説 教育原理 日本史概説Ⅰ/Ⅱ 図書館情報資源概論		東洋史学 西洋史学 地誌学Ⅰ/Ⅱ 地理学概説Ⅰ/Ⅱ 教育制度論 人権教育論 教育心理学 社会科教育法(一) 社会科教育法(二) 公民科教育法(一) 公民科教育法(二) 道徳教育の理論と方法 特別活動論 教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む) 教育相談論 情報資源組織論 学校経営と学校図書館 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用	カリキュラム開発論 社会科教育法(三) 社会科教育法(四) 生徒・進路指導論 教育実習事前指導 特別支援教育論 総合的な学習の時間の指導法
		インターンシップ(各機関)			教育実習(一)

※赤字は必修科目。※その他グローバル科目群も一部履修可能です。

Pick Up 講義 火災論

法律、建築、心理学の目線で有効な火災対策を考える。

4年次生
嶋岡 優子さん(大阪／関西大学第一高校出身)

火災事例や発生のメカニズム、構造物の火災対策を、法律や建築、心理学などの観点から学べます。緊急時、人は本能的に明い所をめざし他の人についていきやすく、人間の行動特性を考慮した空間設計もスムーズな避難に有効だと知りました。受講後はアルバイト先でも、防火設備を意識した備品配置心がけています。

嶋岡さんの時間割(3年次)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	ロジスティクス論			環境問題事例研究 プラクティカル英語Ⅱb	
2					
3	耐震工学	専門演習Ⅱ			
4		火災論			
5	製品安全論	公益事業論			
6					リスクマネジメント論

Pick Up 講義 食の安全学

普段口にしている食べ物がなぜ安全なのかを理解する。

4年次生
濱川 秀哉さん(高知／土佐塾高校出身)

食品衛生制度は過去の事故や事件を機に構築され、事故の際には工程をさかのぼって原因を特定できる仕組みがあることを学びました。一番驚いたのは、食品添加物の効果です。豆腐ができるのも、浅漬けの安全性が保たれているのも添加物の力だと知ったことで、食品衛生や添加物に携わる企業への関心が広がりました。

濱川さんの時間割(2年次)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	基礎演習				
2	犯罪論	英語Ⅲa(上級)		医療と医薬品と安全	
3	リスクと災害の社会学	事故調査制度論		災害復旧・復興論	災害心理学
4	公共政策論	防災まちづくり	英語Ⅳa(上級)		
5		食の安全学			

共同研究プロジェクト

【地盤工学×情報学】

日本各地で高まる土砂災害のリスク。山間部では過疎化・高齢化が進み、コストのかかる土木工事をする余裕もありません。そこで、住民自ら、簡易な観測機器を使って前兆をキャッチ、みんなで情報共有する仕組みづくりを学生が支援しています。



【耐震工学×総合防災・減災】

一見すると「防災」とは無関係に思われる「灯油の巡回販売サービス事業者」。企業の独自技術やサービスを防災に応用するアイデアを学生も案出することで、従来とは異なる手法で、家具の転倒防止や避難所の環境改善を促進しています。



科目紹介

講義紹介

社会安全学を支える幅広い教養と、防災・減災や事故防止に関する専門知識を学びます。

地方自治法

山崎 栄一 教授

微妙なバランスから成り立つ地方自治

地方自治は、住民自治の在り方に加えて、国の権限と自治体の権限とのバランスというタテの関係（国―自治体）と、自治体内部において議会と首長（都道府県知事・市町村長）が並立し、いずれも意思決定を行う機関としてお互いが牽制をしながら、最終的な決定をしていくというヨコの関係（議会―首長）との微妙なバランスの上に立っている制度だといえます。本講義では、これらのバランス（＝駆け引き）について考えていきます。

受講生の声

- 地方自治の仕組みや地方公共団体の組織運営に関する法的な仕組みを学ぶことができた。
- 講義の初めに前回の復習などがあるので、内容に遅れをとらず要点を整理できる。
- 将来地方公務員として働く上で必要な地方自治制度の理解が深まった。
- 一般教養として知っておくべきことや、社会がどのように機能するかが理解できる。



メンタルヘルス論

廣川 空美 教授

こころの健康問題について、 精神疾患の知識を学び、支援方法を考える

人生のさまざまなライフステージにメンタルヘルスの課題が存在し、身体的な健康は大きな影響をもたらします。私たちは人と人のかかわりの中で生きており、家族や学校の友人、職場の人間関係など、社会とのつながりも重要です。本講義では、地域生活と社会活動上の安全問題を読み解く基礎的知識を修得し、専門的観点・異分野の専門家等とのコミュニケーションを通して社会に貢献できるようになることをめざします。

受講生の声

- 精神保健の歴史を法制度や現状と比較して学び、必要な対策を考えることができた。
- 精神症状には多様な種類や特徴があり、それぞれに合った対応をすべきだと学んだ。
- 自分の身にも起こり得る身近なケースを通して考えることで、理解が深まった。
- ストレスが発生する仕組み、向き合う方法についてこの講義で学ぶことができた。



製品安全論

伊藤 大輔 教授

身近な製品に施されている安全対策を 理念、技術、人間的な側面から考える

製品開発において安全性は不可欠な要素です。設計・製造時に細心の注意を払うだけでなく、長期的利用後や想定外の事象時でも安全性を担保し続けることが重要です。本講義では、大型工作機械、立体駐車場や小型家電などを広く含む「製品」の安全について、安全な製品を開発する上で基礎となる事項を学び、身近な製品に施されている安全対策を理念、技術、人間的な側面から考えられるようになることをめざします。

受講生の声

- 安全とは何なのか、安全の基準はどこにあるのかについて深く考えることができる講義でした。
- さまざまな製品の安全に関する知識を深く理解することができる講義でした。
- 身近な製品に対する安全への仕組み、考え方が学べるので非常に為になる内容でした。
- 自動車などの製品がどのように安全に配慮されているのか、毎講義楽しく学ぶことができた。



実習・演習紹介

「安全学」を実社会でどのように生かすかを、学内はもちろん学外でも主体的に学びます。

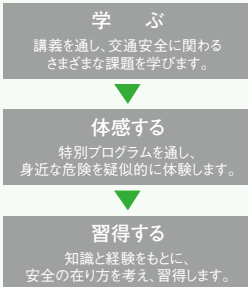
社会安全体験実習

中村 隆宏 教授

道路を利用するすべての人の立場から、 自動車運転の安全性を体験学習する。

自動車運転にともなう危険を認識するため「クレフィール湖東・交通安全研修所」で1泊2日の宿泊研修を実施。受講者は実際に車に乗って具体的な危険状況を模擬体験し、「なぜ危険なのか」「どう防止するのか」「事故が起きそうな時、どう対処するか」を検証し、レポートを作成します。実習の目的は、道路空間を利用するすべての人が「事故防止のために何ができるか」を考えること。そのため、例えば「後部座席に乗る人がシートベルトをしない危険とは、実際にはどんなものか」など、同乗者の危険も体験学習します。

実習の流れ

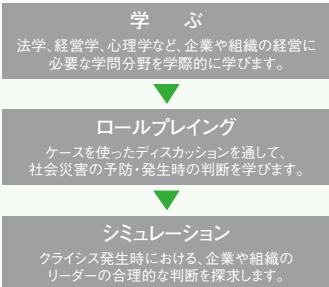


社会安全実践演習（各テーマ）

ロールプレイングによって、 専門知識の実践的な活用法を習得する。

社会安全学部では、開設当初から多数の実習・演習科目を提供してきましたが、2014年度から、新たに「社会安全実践演習」の提供を開始しました。社会安全実践演習には、「クライスマネジメント」「危機管理計画立案」「危機管理本部運営」「合意形成」の4つのテーマがあり、それぞれのテーマ毎に演習が行われます。社会安全学部には、自治体や企業の安全問題の専門家を対象とした研修の経験を有する教員が多数在籍していますので、いずれのテーマの演習においても、実際の場面ですぐに活用できる実践的なスキルを身に付けることができます。なお、社会安全実践演習は、全員が必ず、1つ以上のテーマの演習を受講することができます。

実習の流れ（例：クライスマネジメント）



テーマ一例

「クライスマネジメント （高野一彦教授）」

本演習は3日間の集中講義で行います。第1～2日は、不祥事・製品事故など実際に起こった事件をケースとして、ディスカッションを通して経営判断の基礎を学びます。第3日は、企業におけるクライシス発生を想定して、一連のクライシス対応を模擬的に経験します。3日間の講義を通して、企業や組織のリーダーの合理的な判断を探究します。

AI×社会安全

政府の「AI戦略2019」では、デジタル社会に必要な「数理・データサイエンス・AI」に関する力を全国民が育み、あらゆる分野で人材が活躍するような教育改革を進めることが掲げられています。

社会安全学部では、今後求められる人材を育成するため、「AI×社会安全」の学びを2020年度から提供しています。

応用基礎教育

- 卒業研究I・II（4年次）
- 専門演習I・II（3年次）

- 統計データ解析実習I・II（2年次）

- AI実習（1年次）
- IT実習（1年次）
- 社会安全のための統計学（1年次）

リテラシー教育

■ 専門演習I・II、卒業研究I・IIの一例（水災害研究室）

津波防災の研究にAIを活用しています。AIは画像から特定のパターンを認識することが得意です。そこで、津波の観測データを大量に画像化してAIに学習させると、どのような津波が起きたのかをすばやく判断することが可能です。人間が予測を行うと数週間かかる作業をはるかに短い時間で実行できることがポイントです。AIを社会の課題解決にどう活用できるかが、今後はますます重要になるでしょう。



■ AI実習

AIを使って何ができるのか、何ができないのかを体験的に学びます。現在のAIは、データを集めて分析する作業を短時間で大量に行うことを得意としています。この実習では、どのようなデータを集めるのか、何を分析させるのかといった活用リテラシーを低年次のうちに習得することを目的とします。



ゼミ活動紹介

3年次からのゼミでは、社会・人間・自然に関わる多様な専門分野に分かれ、自然災害や社会災害を最小化するための課題に向き合っています。フィールドワークをはじめとした実践的な演習を通じて洞察力を高め、各人がそれぞれの関心に基づいて問題解決に挑戦します。

山崎ゼミ

行政と「安全・安心」の関わりを、法律制定の過程も見えて理解する

4年次生 宮本 侑哉さん
(大阪／府立狭山高校出身)

山崎ゼミは主に行政法と「安全・安心」の関わりをテーマとし、私は「個別避難計画」について学んでいます。災害時の高齢者や障がい者の死亡率は、健常者よりも平均2倍近く高いとされ、避難先やその経路、注意事項などが取りまとめられています。

昨年度はゼミ内で2班に分かれて、九州と東北を訪れました。私は佐賀県で障がい者の方と対談し、熊本県庁の方にもお話を伺いました。実際に行政で働く方、障がい者の方、被災された方にしかわからないことを知ることができたと感じています。山崎先生には、法律が制定された背景まで教わりました。ゼミを通じて、結果だけではなくその過程も見ることの大切さを知りました。

順序立てて物事を捉える習慣が付き、知識を深められたと思います。

社会



桑名ゼミ

文系の学問を用いて環境問題と政策を分析し、広い視野で世界と向き合う

4年次生 清水 香里さん
(京都／府立山城高校出身)

桑名ゼミのテーマには「保険」と「環境政策」の2つがあり、私の選んだ「環境政策」では文系の学問を用いた環境問題や政策の分析、評価手法の習得をめざします。ゼミは少人数制で先生のフォローも手厚く、アットホームな環境です。ゼミ生は「動物」「衣類」「化粧品」など各自の興味と環境を結びつけて研究し、互いの発表を聞いて改善点を話し合い、切磋琢磨して取り組んでいます。発表を聞いていると、一見環境に関係なさそうなことも、回りまわって環境とつながっていることが分かります。また、自然環境だけではなく、私たちを取り巻く社会環境も環境政策の枠内にあると学びました。SDGsの言葉をよく耳にする現代で、より広い視野をもって世界と向き合えるようになったと感じています。

廣川ゼミ

ゼミの一期生それぞれが人々の健康と幸福のために興味に応じて知識を深める

4年次生 山崎 絢瑛さん
(高知／県立高知西高校出身)

廣川ゼミは、私たちが一期生となりスタートしました。「人々の健康と幸福のために」を共通のテーマにし、各自が関心のある題材を選んで研究を進めています。防災意識など社会安全学部ならではの研究を行う学生もいれば、廣川先生が専門とする心理学や人との繋がりに関連した研究を行う人も。調査に関連して収集したデータが合っているのかを検証するため、駅や商店街で街頭インタビューを行うことや、学外の方を招いて講義していただき知識を深める機会もあります。研究テーマに直接関わっている方々に話を聞いて、文献ではわからないことを知ることができました。ゼミ生は活動を活性化させるために何が必要かを一から考え、刺激し合いながら、とても良い雰囲気のゼミを作り上げています。

人間



菅原ゼミ

「安全の基準」の背景に着目し、文系・理系の枠を超えてアプローチする

4年次生 平野 雪花さん
(大阪／府立芦間高校出身)

「安全の基準」をテーマに、安全を構成する考え方や具体的な数値を、その背景や根拠にまで遡って検討し、考察を加えていきます。研究は、食品、原子力、玩具、スポーツなど、身の回りの物事に定められた安全基準に着目し、疑問をもつことから始まります。文系・理系の垣根を超えてアプローチできるため、研究の切り口は多種多様で、発表会でも他のゼミ生の発表内容が新鮮で飽きることがありません。私は3年次でのゼミ活動を通して「研究で自分が何を不得たのか」を考え、外国の文化や歴史から原子力分野の研究を進めることを決めました。先生から個々の研究テーマに沿った的確な助言をいただけることに加え、先生同行のフィールドワークや、研究者の方々に前にグループで発表を行う機会があるのもゼミの魅力です。

自然

奥村ゼミ

地域や社会が抱える課題とも向き合いながら、防災・減災の在り方を考察

4年次生 辻 琴音さん
(兵庫／百合学院高校出身)

「総合防災・減災」をテーマに、巨大地震や台風、風水害などの被害を減らして命を守ることを主軸に研究しています。文系・理系を問わず、身近なものや日常の何気ない瞬間も研究対象にし、プログラミングやドローンを用いて安全な避難方法を考えるなど、災害に備えて何ができるかを追求しています。地域の避難訓練にも参加し、避難行動で生じる課題や、地域社会と防災の関わり方も考えてきました。防災は命を守るために不可欠ですが、同時に社会や人々が抱える他の課題も解決する必要があります。ゼミを通じて、身の回りの課題に対しても解決策を考えるようになり、生きる上で重要な視点に気づくことができました。奥村ゼミは多様性を大切に活動しているため、研究を通じてお互いに学び合えることも魅力です。



川口ゼミ

密集した人混みで安全を守る方法を、観察やシミュレーションで分析する

4年次生 末永 裕大さん
(福岡／東福岡高校出身)

通勤時の駅改札や花火大会など、人が密集して自由に動き回れない場所での安全性を考える「群衆安全学」を学んでいます。実験、コンピュータ・シミュレーション、観察などを通じて、群衆の安全を守る手段を探します。川口ゼミではプログラミングを用いるため、3年次の春学期にシミュレーションの手法やプログラミング技法を習得しました。先生の丁寧な解説のおかげで理解でき、得た知識を卒業研究に役立てています。ゼミ内で研究の進捗報告を行う機会が多く、プレゼンテーション能力も身に付きました。発表時には先生が多くの指摘をくださり、そのたびに研究が深まります。他のゼミ生の発表では必ず質問するよう求められるため、その経験が何にでも疑問をもつ姿勢や、日々の探究心にもつながっています。

▶▶▶「社安」のゼミの様子は随時ブログで発信しています!



卒業生インタビュー

運送事業に携わる人々の安全への取り組みを支え、事故削減を積極的に進めています。

学生時代に学んだ「安全」に直接関わる仕事に就きたいと思い、ゼミ活動の研究テーマでもあった交通インフラに関わる業界を志望しました。現在は、主に運送事業者のドライバーや、運行管理に携わる人々への運転に関する助言・指導や、法令で定められた講習会の実施を担当。これらの業務を通じて、運送事業者やドライバーの安全への取り組みをサポートし、事故削減を積極的に進めています。この仕事の特徴は、運送の現場で働いている人に直接、情報を提供できることです。「参考になった」「今日から実践してみる」などのうれしい言葉をもらえることにやりがいを感じます。今後も運送事業に携わる人々に有益な情報を提供できるように、自己研鑽に励んでいきたいと思っています。

現在の仕事に役立っていること 事故や災害に遭った方々と交流した経験が被害者支援に生きています。

仕事の中で交通事故を起こしたドライバーや、その管理者の方と接する機会が多々あります。社会安全学部の講義では事故事例分析の実習があり、その時に学んだ手法が交通事故を分析する際に役立っています。また交通事故の被害者支援も行っているため、学生時代に事故や災害に遭った方々と交流した経験が、相手の気持ちを汲み取る際に生きています。

一人でも多くの人が安心して生きられるように、健康診断を通じて尽力しています。

出身地である石川県で、一人でも多くの人が安心して自分らしく生きられるように尽力したいと考え、健康診断を行っているこの協会を志望しました。在学中にアルバイトの経験を通じて、「よく生きる」ことを支える仕事がしたいと考えたようになったのも志望の理由です。現在は渉外職としてお客さまの会社に伺い、健康診断を実施するための日程調整や打ち合わせなどを行っています。ニーズや年齢層に応じてがん検診などもご提案し、受診される皆さまの健康維持に貢献できることにやりがいを感じています。「健康100年時代」に向けて健康診断を活用いただくために、今後もお客さまの目線に立って提案を行えるよう自己研磨に励みます。

現在の仕事に役立っていること 多角的な視点が、先々のリスクを考えた行動につながっています。

社会安全学部では理系・文系にとらわれず多角的な視点で、過去の事故や具体例を用いて実生活と結びつけながら具体的に学びました。現在の業務においても、個人情報を取り扱うとき、車の運転をするときなど、さまざまな場面で先々のリスクを考えながら行動する意識に、在学中の学びが生きていると感じます。

公務員として福祉行政に携わる上で、文理融合の幅広い学びが活かされています。

大学で学んだ防災・減災の知識を生かし、災害への危機管理を高めてより多くの命を救いたいと思い、大阪府庁を志望しました。現在は生活保護を担当し、府内の市町村や指定介護機関への指導や監査を実施して、生活保護法や介護保険法に基づく行政が適切になされているかの確認を行っています。国と市町村との橋渡し役を担い、府全体が適切な行政を行えるよう正確・丁寧な業務に努めています。将来的には、在学中の防災・減災に関する学びを生かすとともに、より専門的な知識を身に付け、災害対策を行う危機管理の業務に携わることが目標です。自然災害による被害を最小限にできるよう対策して、大阪をより災害に強い街にしたいと考えています。

現在の仕事に役立っていること 文理融合の幅広い学びが、公務員としての業務に役立っています。

文理融合の幅広い知識を身に付けられることが、公務員として働く上でアドバンテージであると感じます。公務員に必要な法律の知識も学んだことで、適切な業務遂行につながっています。リスクマネジメントに関する知識のほか、心理学やメンタルヘルス学も生活受給保護者に寄り添う福祉行政に役立っています。

独立行政法人自動車事故対策機構に勤務



江木 謙太さん

安全マネジメント学科 2017年3月卒業

一般財団法人石川県予防医学協会に勤務



古川 真衣さん

安全マネジメント学部 2020年3月卒業

大阪府庁に勤務

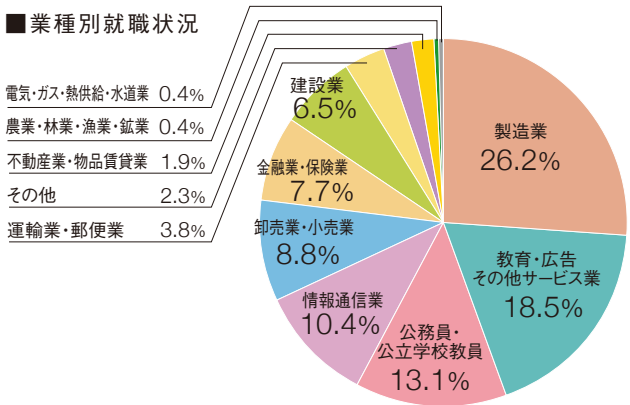


宮内 瑞樹さん

安全マネジメント学部 2020年3月卒業

就職実績

社会安全学部第10期生の就職率は、99.2%（男子99.4%、女子99.0%）と、引き続き高水準を維持し、13学部中、上位の就職率となっています。また、公務員・公立学校教員の占める割合も13.1%と高い水準を保っています。安全・安心に対する社会の高いニーズに応えた結果といえます。



就職・進学先の一例 <2023年3月卒業生実績>

製造業	アース製業、アサヒ飲料、味の素AGF、エレコム、オカムラ、沖電線、カネカ、関西ペイント、キーコーヒー、キュービー、クボタ、日産自動車、能美防災、パナソニックグループ、パナソニックコンシューマーマーケティング、古野電気、ホーチキ、三菱電機、モリタ製作所、安川電機、淀川製鋼所 など	卸売業・小売業	イオンリテール、岩谷産業、オークワ、花王グループカスタマーマーケティング、シャープマーケティングジャパン など
教育・広告・その他サービス業	エン・ジャパン、ダスキン、西日本高速道路（NEXCO西日本）、社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 など	金融業・保険業	鹿児島銀行、関西みらい銀行、清水銀行、東京海上日動火災保険、奈良県農業共済組合、南都銀行、広島銀行、みずほフィナンシャルグループ、三井住友信託銀行、明治安田生命保険 など
公務員・公立学校教員	国家公務員一般職、国税専門官、防衛省自衛隊 幹部候補生、東京都職員、愛知県職員、滋賀県職員、大阪府職員、大阪市職員、堺市職員、神戸市職員、君津市職員、日野町職員、河内長野市職員、岸和田市職員、高槻市職員、豊中市職員、尼崎市職員、加西市職員、明石市職員、十津川村職員、徳島市職員、大阪府警察官、大津市消防吏員、乙訓消防組合消防吏員、京都市消防吏員、大阪市消防吏員、堺市消防吏員、小野市消防吏員、福山地区消防組合消防吏員 など	建設業	大林道路、積水ハウス、大和ハウス工業、高砂熱学工業、長谷工コーポレーション など
情報通信業	エヌ・ティ・ティ・データ関西、富士通、富士通エフサス、富士通Japan、三井E&Sシステム技研、リクルート など	運輸業・郵便業	朝日航洋、近畿日本鉄道、鴻池運輸、四国旅客鉄道（JR四国）、スカイマーク、センコー、西日本鉄道、北海道旅客鉄道（JR北海道） など
		その他	国立病院機構、社会保険診療報酬支払基金、住宅金融支援機構、日本赤十字社 など
		農業・林業・漁業・鉱業	サカタのタネ など

キャリア支援

学部独自のプログラムで、学生一人ひとりのキャリア形成を支えています。

キャリアセンター高槻ミュージキャンパス分室では、主に社会安全学部生を対象とした就職・キャリア形成支援に関するガイダンスや各種セミナーを実施。また、エクステンション・リードセンターの各種講座に関する相談も受け付けています。その他、図書の貸出や資料閲覧コーナーの設置等、学生の自学自習力を育む環境を整えています。さらに社会安全学部では、独自のインターンシッププログラムを実施するなど、1年次からのキャリア形成に力を入れています。

キャリアデザインを考える

- キャリアセンター主催のセミナーの受講
- 各種インターンシップへの参加
- 「キャリア形成科目群」の受講

基礎能力の向上

全員を少人数制クラスに配属。専任教員が各クラスの指導担当となり、社会人として必要なスキル（情報を収集する、読解する、書く、発表する、議論する）の訓練を行う。

- ▶「入門演習」（1年次）
- ▶「基礎演習」（2年次）

多彩に広がる将来の活躍フィールド

「安全・安心な社会」への関心が高まる中で、社会安全問題を専門とする人材は、公共部門、民間部門を問わず、幅広く必要とされています。

- | | |
|--------|---|
| 企業 | 業種・業態を問わず、あらゆる分野で社会安全問題のスペシャリストが求められています。 |
| 国・自治体等 | 公務員やNPO、さらに災害関連の国際機関職員として、世界を舞台に活躍するチャンスが広がっています。 |
| 研究 | 大学院への進学や研究機関などへの就職により、安全・安心の仕組みづくりが期待されています。 |

- 取得できる資格
- 中学校教諭一種免許状（社会）、高等学校教諭一種免許状（公民）、社会安全士、社会調査士、司書、学芸員など

大学院（社会安全研究科）

安全・安心な社会をデザインするエキスパートとしての道を志す多くの学生は、卒業後に引き続き大学院「社会安全研究科」へ進学しています。学部での学びが学際的に幅広く安全に関する知識を身に付けるのに対し、大学院では指導教員の専門性に基づき、関連学会でも高く評価されるような高度な研究能力を育成します。修了生の多くがその専門性を生かし、民間企業のエンジニアや、コンサルティング企業の研究員、大学教員などとして活躍しています。



院生研究室

キャンパス紹介

社会安全学部がある高槻ミューズキャンパスの特徴的な施設・設備を紹介します。



ミューズキャンパスはJR高槻駅から徒歩約7分、阪急高槻市駅からも徒歩約10分の交通至便な立地。また、大阪の都心や京都に30分程度で行くことができ、大学生生活のさまざまな場面で便利なキャンパスです。

- 1 東館
(初等部・中等部・高等部校舎棟)
- 2 西館(大学・大学院学舎棟)
 - ミューズ大学図書館
 - 安全ミュージアム
 - キャリアセンター
 - ミューズ保健センター
 - 関西大学児童図書館
 - エクステンション・リードセンター
 - 生涯学習センター
 - 関西大学ミューズホール
- 3 北館
 - レストラン“ミューズ”
 - 災害用備蓄倉庫 ほか

特徴的な施設



安全ミュージアム

社会安全学部・社会安全研究科で取り扱う「防災・減災・危機管理」などの学問領域を題材にした資料を展示しています。また、生涯学習の地域拠点として、市民への開放もしています。



ゼミ研究室

3年次からは、すべてのゼミに学生専用のゼミ研究室があるという恵まれた環境のもと、ゼミ生同士で活発な議論をしながら研究を進めています。



災害用備蓄倉庫

防災拠点として、災害時に必要な食料や生活用品のほか、発電機や非常用ライトなども保管しています。また、プールの水を浄化して、生活用水を確保するシステムなども備えています。



設備の整ったミューズホールでも講義を受けます。



学生控室でおしゃべりしたり、教え合ったり。



レストラン“ミューズ”

中学生から大学院生まで、さらには一般の方も利用できる地域開放型レストラン。リーズナブルで豊富なメニューは大好評で、オープンカフェコーナーなどくつろぎのスペースも備えています。



ミューズ大学図書館

手が届きやすいように低い書架が並び、圧迫感なくすっきりした空間には、約5万冊の充実した図書がそろっています。希望の図書がなければ、他キャンパスの図書館から取り寄せることも可能です。



エレベーターホール

大学とは思えないホテルのような内観で、高速に稼働するエレベーターを6基備えています。また、館内全体に広がるカーペットや机、壁の色彩など、隅々まで工夫を凝らした設計となっています。

ミューズキャンパスの地域交流イベント



多彩なメニューの公開講座



近隣住民の方々と炊き出し



1階のレストランで友人とのランチタイム！



教員・研究紹介

社会安全学部の教員とその研究を紹介します。

社会



亀井 克之 教授
専門分野
■リスクマネジメントとその事例



高鳥毛 敏雄 教授
専門分野
■公衆衛生学、食の安全学、感染症制御学



高野 一彦 教授
専門分野
■コンプライアンスとCSR・情報法



永田 尚三 教授
専門分野
■消防行政



永松 伸吾 教授
専門分野
■災害の経済分析と減災政策



山崎 栄一 教授
専門分野
■地方自治体と災害対応



吉田 裕 教授
専門分野
■交通システム安全論、事故分析



桑名 謹三 准教授
専門分野
■事故と損害保険



河野 和宏 准教授
専門分野
■情報セキュリティ

人間



近藤 誠司 教授
専門分野
■災害とメディア



土田 昭司 教授
専門分野
■安全の社会心理学



中村 隆宏 教授
専門分野
■事故・災害とヒューマンエラー



廣川 空美 教授
専門分野
■職場のメンタルヘルス、社会疫学、健康心理学



元吉 忠寛 教授
専門分野
■災害の心理学



岡本 満喜子 准教授
専門分野
■過失とヒューマンエラー



城下 英行 准教授
専門分野
■防災教育・安全教育



菅 磨志保 准教授
専門分野
■支援と復興の社会学



菅原 慎悦 准教授
専門分野
■リスクをめぐるガバナンス

自然



一井 康二 教授
専門分野
■性能評価に基づく耐震設計



伊藤 大輔 教授
専門分野
■自動車衝突安全・衝撃生体力学・事故分析



奥村 与志弘 教授
専門分野
■総合防災・減災学



川口 寿裕 教授
専門分野
■事故のシミュレーション



越山 健治 教授
専門分野
■未来都市に潜む災害危険性



小山 倫史 教授
専門分野
■地盤災害



高橋 智幸 教授
専門分野
■水災害の防災・減災技術



林 能成 教授
専門分野
■地震学、地震災害



細川 茂雄 教授
専門分野
■熱・流れと安全



福井 敬祐 准教授
専門分野
■統計科学

特別任命教授 ※授業は開講しておりません。



社会安全研究センター長
河田 恵昭
専門分野
■防災・減災学の構築

東日本大震災の被害の10倍以上となる南海トラフ巨大地震や首都直下地震などが起これば、わが国はつぶれてしまいます。そのような最悪の被災シナリオにならないように減災対策を提案します。

関西大学 社会安全学部をめざす皆さんへ

幅広い学問分野の知見を基に、危機管理能力を養う。

関西大学 社会安全学部では、安全・安心な社会を実現するために、災害や事故が起こるメカニズムを学び、それに備えるための策を人々が実行できるところまで落とし込みます。そのため、自然現象を読み解く工学や理学、災害時の人の行動と心の関係を知る人間行動学、災害に対応できる行政システムを築くための法学や経済学など、幅広い科目群に加え、1年次から演習や実習科目を多数配置しています。実習や演習では例えば、自治体の防災担当者になったものとして地震が起きた際の対応を考えるなど、幅広い科目から得た知識をどう組み合わせ、どう使っていくのかを実践的に身に付けます。また、安全・安心は地球全体のテーマでもあるため、国際現場で生かせる英語教育にも力を入れています。

災害時には何が起こるか分かりません。そうした災害に備える策を練るには想像力も必要となります。さまざまなことに興味をもって取り組める方、私たちと一緒に「安全・安心」をテーマに、課題解決能力を身に付けてみませんか。そうして培われた危機管理能力は、将来幅広い分野できっとあなたの役に立つことでしょう。



社会安全学部長
土田 昭司 教授